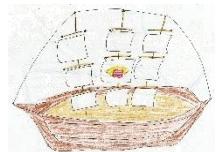
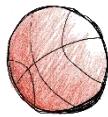


上演

10

速報! Drama Scoop ドラマ グループ



樂屋インタビュー

1 本番を終えて、どんな気分ですか？

今まで一番悔しかったです。

2 本番中ハプニング

机が揺れました。トイレに行きたかった。

黒ひげ危機一髪が落ちそうだった。

3 思い出に残った台詞

この船を沈ませはしない。必ず夜明けは来る。

4 大会期間中、部活内で流行ったワード・行為

- ・ラブブ、ブブブ
- ・さっすがキャプテン!!
- ・パパットスンスン
- ・豆腐メンタル

5 見てくれたお客さんに向けて

見てくれて!! ありがとう!! 辛くて苦しいことの連鎖でも夜明けは必ず来ます。違う船に乗り換えるても、その船で輝くことができる。



お客さんインタビュー

●前半は表面をなぞるような進行に対し、後半は内に踏み入るような進行で、それらの対比を照明や自然音響が際立たせており、物語に深みが出ていたと感じた。

●キャプテンの演技における部長と船長の切り替えや、義足で足を引きする演技など細かい部分にも力を入れていると感じた。

●ラストシーンで
ダッシュするところが
爽やかでかっこ良かった



運営委員が観た!
この劇の感想

●最初、動きや衣装、小道具などから、船乗りをテーマにした劇だと思っていました。しかし、学校の机や椅子、黒ひげ危機一髪があったところに違和感。そしたらまさかの劇中劇！大真面目に台本を演じているみなさんに思わず笑ってしまいました。劇中に出てくる「船」「舵」という言葉を、自分にとっての「試練」や「克服」に重ね合わせるストーリーに工夫を感じました。担当：佐藤(富谷)

●始めはバラバラだった部員たちが、最後、入院したキャプテンのために全員で走り出すシーンに感動した。劇中劇になる時のホリ幕の青さに、実際に航海へ出ているように感じられた。劇中劇のキャラクター達が個性豊かで、作品の中に吸い込まれた。キャプテンの「自分を守る鎧」というセリフに、確かに自分にあると共感できた。 担当：高橋(塩釜)